

尼崎市総合計画の構成要素（案）

I. はじめに ~総合計画の策定に当たって~

1. 計画策定の考え方
 - (1) 総合計画をめぐる状況
 - (2) 総合計画と時代背景の変化
 - (3) 総合計画に求められる役割の変化
 - (4) 総合計画の策定と趣旨
 - (5) わかりやすさへの配慮
 - (6) 総合計画の推進
2. 計画の構成と期間

資料 2

資料 3

II. まちづくり構想

1. 策定の趣旨
2. 目的と役割
 - (1) 「ありたいまちの姿」を示す
 - (2) まちづくりの進め方を示す
3. 構想の期間
4. ありたいまちの姿
 - (1) 人が育ち、互いに支えあうまち
 - (2) 健康、安全・安心を実感できるまち
 - (3) 地域の資源をいかした活力あるまち
 - (4) 次の世代に負担を残さない、将来に責任を持つまち
5. まちづくりの進め方
 - (1) 住民主体によるまちづくり
 - (2) 協働によるまちづくり
 - (3) 成果を重視する自治体運営
 - (4) 持続可能な自治体運営

資料 4

III. まちづくり構想の背景

1. 時代認識と尼崎市の現状
 - (1) 人口減少、少子高齢社会の進行
 - (2) 社会経済情勢の変動
 - (3) 環境問題の顕在化
 - (4) 情報社会の進展
 - (5) 地方分権と地域主体のまちづくり
 - (6) 厳しい財政状況
 - (7) 次代に引き継ぐ資産の活用
2. 「ありたいまちの姿」を考える視点

資料 5

資料 6